



# わかくさだより

入間わかくさ  
高等特別支援学校  
TEL: 04-2941-5771  
FAX: 04-2964-774

令和2年12月24日 第9号

ホームページアドレス: <http://www.wakakusa-sh.spec.ed.jp>



## 「『忍ぶ』ではなく『耐える』で」

校長 炭谷 渉

今年の1月の学校だよりでは

令和2年が始まりました。関東地方は穏やかな年明けでした。

.....

十二支のなかで一番目の「子（ねずみ）年」のスタートです。調べてみると、「子」という文字は「新しい生命が種子の中に萌（きざ）し始める状態」を表し、新しい「物事や運氣」のサイクルが始まる年になると考えられてもいます。.....

と書きました。

当時は新型コロナウイルス感染に関するニュースはほとんど出ていなかったように記憶しています。そこからの状況の劇的な変化や世界的な感染拡大など全く考えてもいませんでした。

皮肉にも、まさに新しい「物事や運氣」が始まった年となってしまいました。

現在、第3波の感染拡大の中です。「新しい生活様式」が引き続き必要な状況に変わりはありません。行動の自粛も必要です。様々な不安やストレスを我慢しながらの、まさに「忍耐」の冬休みになります。

ある記事で解剖学者の養老猛司さんが、「何も言わないでじっと我慢するのは『忍ぶ』で、『痛い、痛い』と騒いで我慢するなら『耐える』だ」と書いておられました。どちらが良いとか悪いとかではなく、可能な「我慢」の方法をとることが重要なのだと思います。

我慢の期間が長くなると「忍ぶ」は本当につらい状況になります。現在の「不安」、「つらさ」そして「苦しさ」は日本全国共通です。その分、他の人の厳しい状況を理解することができるのではないのでしょうか。

家族で過ごす時間が多くなると思います。みんな苦しんだから「黙って我慢（忍ぶ）」ではなく、「不安」「辛さ」「苦しさ」を含めて言葉にして話すことも必要ではないかと思います。「しゃべって、伝えて」少しずつ発散して、理解し合う冬休みとしてはいかがでしょうか？

「言葉で伝えあう」ことの重要性をかみしめながら、様々な「新たな」ことへの準備を怠らないように。

2020 年度

## 1 月

日	曜	
1	金	元日 冬季休業日～1/7
2	土	休日
3	日	休日
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	3学期始業式【全】11:30下校【職】身体測定 【職】願書受付期間
9	土	職業教育フェア
10	日	
11	月	成人の日
12	火	【普】身体測定 【職】願書受付期間
13	水	【職】志願先変更期間
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	【職2】就職ガイダンス 【普1】進路見学①
19	火	【全】11:30下校
20	水	【職】入学選考日(全校休業日)
21	木	【職】入学選考日(全校休業日)
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	【普】マラソン大会試走
26	火	【職】入学選考追検査日(職業学科休業日)
27	水	
28	木	【普】マラソン大会 オリパラ講演会
29	金	【職】入学許可候補者発表日9:00～ 【普1】進路見学②
30	土	
31	日	